

# 「AKIOTAKARA を守ろう」

## ～SDGs を通じて私たちにできること～

本単元で育成する資質・能力

求める

考える

やり抜く

### 1 単元について

#### (1) 単元設定

現代社会は、貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇など多くの課題に直面しており、人類が安定して世界で暮らし続けることが難しくなっている。それは、他人事ではない。SDGs とは、世界の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030 年までに達成すべき目標を表したものである。生徒一人ひとりが抱く課題を出発点とし、共に考え「対話」を通じて社会的課題の解決に向けて、試行錯誤を繰り返すことが必要である。単元の中で扱う「社会的課題」は多様であり、課題解決の必要性に気付き、それぞれの問いがつながり合っていることを発見し、広がり、深めることができると考え、本単元を設定した。

生徒たちの持っている柔軟な考えや感性、ICT 活用力を生かし、SDGs の目指す持続可能な世界の実現に向けて、身近なところから課題設定を行い、社会的課題を「自分事」として捉えられるようにする。そのためにまずは、自分たちの町、「安芸太田」の「AKIOTAKARA を知る」ことから始める。次の段階として、「AKIOTAKARA を残す」ことが、自分たちができる「SDGs」につながっていくことを実感させたい。課題解決に向けてどのような取組が自分たちにできるのか、考えさせたい。それに伴って、「SDGs の達成を目指して社会に貢献できること」を単元目標とした。

自分にできる「SDGs」を考え、どのように取り組めば、持続可能な世界になるのかを考えさせ、一人一人が課題を発見し、解決方法を考えようとする態度や解決に向けて取り組もうとする態度を育てることのできる単元である。

#### (2) 生徒観

本学年は、第1学年 16 名(男子9名、女子7名)の学年である。どの授業においても意欲的に取り組むが、個々の学力差は大きいと、話し合い活動などを通じて協働して学ぶ姿勢はなかなか身につけていない。小学校6年時にとったアンケート結果から分かるように、「総合的な学習の時間」や「探究的な活動」には意欲的であるが、自らの意見を相手に伝えること、根拠をもって説明することなどはまだまだできていないという実態がある。

#### ●小学6年時の学習に対する意識に関するアンケート(抜粋)

	肯定的評価
1. 授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。	78.5%
2. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	85.7%
3. 授業では、自分の意見を積極的に伝えています。	50%
4. 授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。	28%

### (3) 指導観

指導にあたっては、体験的な学習を通じて課題意識を持ち、その課題解決に向けて必要な情報を生徒自身が収集できるように学習をつないでいくファシリテーターとしての役割を教師が担う。また、目的をもって学習に取り組めるように、自分たちの住む安芸太田町を SDGs の視点で見ることによって、地に足をつけて(自分事として) SDGs について考えられるように学習を進める。その中で、「対話」を通して、一つの事象を多角的に捉えさせ、様々な方向からのアプローチが必要であることに気付かせたい(「対話」の必然性)。また、自らが主役となって生きていく未来に希望を持てるようにするために、ICT 機器を活用し、知識の定着だけでなく将来の展望をイメージさせるなどの支援を行いたい。指導に際しては、ペアやグループ活動を適宜設定し、常に多角的視点から考えられるようにする。最後に、個人思考させ、「課題意識」を持たせられるように指導したい。

## 2 単元の目標

安芸太田町における SDGs に関する探究的な学習を通して、地域の特徴やよさを理解し、様々な視点や立場から課題を設定するとともに自分にできることを見つけ、生かすことができるようにする。

## 3 単元の評価規準

資質能力	評価の観点	評価規準	本校で育てようとする資質能力の具体
知識及び技能	知識・技能	①地域の人、物、こと、SDGs に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに地域の特徴やよさを理解している。 ②地域の自然環境は人間の生活の変化とともに変わるものであること、持続可能な環境の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。 ③調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。 ④持続可能な社会の実現に関する理解は、地域の自然環境とそこに関わる多様な人や組織との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気づいている。	求める
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①持続可能な社会の実現に向けて、自分たちの町である安芸太田町に関する SDGs から課題を発見し設定している。 ②解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。 ③異なる情報の共通点や差異点を見つけ、関係や傾向を明らかにしている。 ④事象を比較したり関連付けたりして確かな理由や根拠を持っている。 ⑤相手や目的に応じて効果的な表現をしている。 ⑥学習を振り返り、自己の成長を自覚し、学習や生活に生かしている。	考える 求める

学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①SDGs の目標を達成するために、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 ②異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしている。 ③自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組もうとしている。自己の生き方を考え、夢や希望を持ち続けている。 ④自他の良さを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとしている。 ⑤実社会や実生活の問題の解決に自分のこととして取り組もうとしている。	やり抜く
--------------	---------------	---	------

#### 4 本時におけるルーブリック

考える	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との対話を通して、自らの考えを広げたり、深めたりしている。</li> <li>・収集した情報を整理・分析することで、自らの変容を自覚して捉えることができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を自ら吟味し、事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。</li> </ul>

#### 5 単元の指導計画(全 30 時間)

	探究の過程	学習活動
一 AKIOTAKARA を説明してみよう	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>AKIOTAKARA について知ろう！</b> </div> <p> <b>【課題設定1】</b>  <b>【情報収集1】</b>  <b>【整理・分析1】</b>  <b>【まとめ・表現1】</b>            (8)         </p>	<p>○安芸太田の AKIOTAKARA を探し、地域と SDGs の関係を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの AKIOTAKARA を出し合う。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・私たちの AKIOTAKARA についてグループで根拠を明確にしながるプレゼンを考える。(思考ツールの活用)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>・私たちの AKIOTAKARA を出し合いパネルディスカッションを行う。(本時)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

**AKIOTAKARA を残そう！**

【課題設定2】  
【情報の収集2】  
【整理・分析2】  
(8)

- 未来につなぎたい AKIOTAKARA を決める。
- 未来につなぐために自分たちに何ができるか計画する。
- グループの実践方法を考えてやってみる。
- 自分たちが考えた現代的な諸課題の具体例を挙げ、解決するためにできることを明らかにする。
- 違いを明らかにするために、事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。



【まとめ・表現2】

- 加計高校生との交流
- ・加計高校のボランティアへの参加 ・高校生との意見交流

**AKIOTAKARA を増やそう！**

【情報の収集3】  
【整理・分析3】  
(8)

- グループの実践方法を考えてやってみる。
- 自分たちが考えた現代的な諸課題の具体例を挙げ、解決するためにできることを明らかにする。
- 違いを明らかにするために、事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。
- 自分たちが考えた諸課題を解決するための方法を実践する。



	<b>【まとめ・表現3】</b> (1)	○グループごとに決めた 1 つのテーマについて、2 年生グループに発表する。 ○多種多様な課題について考え、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。
	<b>【情報の整理】</b> <b>【表現4】</b> (5)	○意見交流を受けて発表修正 ○加計小グループへ SDGs 安芸太田を紹介

## 6 本時の学習指導について

### (1) 本時の目標

- ・私たちのグループが考える、「未来につなぎたい AKIOTAKARA」を説得力あるものにしよう。
- ・自分の考えを広げたり、他者の意見を取り入れたりしながら、「残したい MY AKIOTAKARA」を決めよう。

### (2) 本時の観点別評価規準

自分たちで調べた AKIOTAKARA について、事象を比較したり関連付けたりして、理由や根拠を挙げながら説明することができる。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点(◇)	望ましい姿 (本校で育てようとする資質能力の具体)
<p>1. 前時までの学習を振り返る。(2分)</p> <p>2. 本時の課題を確認する。(2分)</p>		
<p>・私たちのグループが考える、「未来につなぎたい AKIOTAKARA」を説得力あるものにしよう。</p> <p>・他者の意見を取り入れたりしながら、自分の考えを広げ、「残したい MY AKIOTAKARA」を決めよう！</p>		
<p>3. パネルディスカッションを行う。</p> <p>未来につなぎたい AKIOTAKARA について、自分たちの考えを理由もふまえながら伝える。また、他者の考えを聞きながら、自分たちにできることや未来につなぎたいもの・ことを整理・分析する。</p>	<p>・パネラー…自分たちのグループで考えた理由を分かりやすく、論理的に話す。</p> <p>・フロア…それぞれの意見の相違点をとらえて聞き、より詳しく説明を求める質問を行う。</p>	<p>【考える④】</p> <p>収集した情報を自ら吟味し、事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。</p>
<p>4. パネルディスカッションを振り返る。グループ交流を通じて考えたことを、4つのグループで再び考える。(4分)</p>	<p>・未来につなぎたいこと・ものを関連付けながら考える。</p> <p>・注目する観点到に偏りがあった場合は、違う観点到に注目する声掛けを行う。</p>	
<p>5. 個人で「残したい MY AKIOTAKARA」を決める。考えが変わったことや深まったことを振り返る。</p> <p style="text-align: right;">(10分)</p>	<p>・他の人の意見を聞き、再度、未来につなぎたい AKIOTAKARA について考えさせる。</p>	
<p>6. 次時以降の学習内容の見通しを持つ。</p> <p style="text-align: right;">(2分)</p>	<p>・今後、実際に活動していくことを伝え、実践可能で具体的な思考を促す。</p>	